

桜祭号
(第五号)



安心とするおのの町「川の手」をめぐって

防災 まちづくりの豆版

昭和6年4月1日

発行／寺言問の防災まちづくりを考えるわいわい会

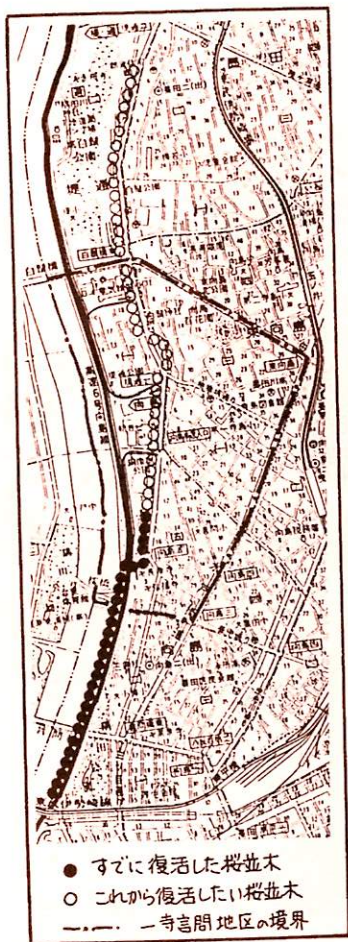
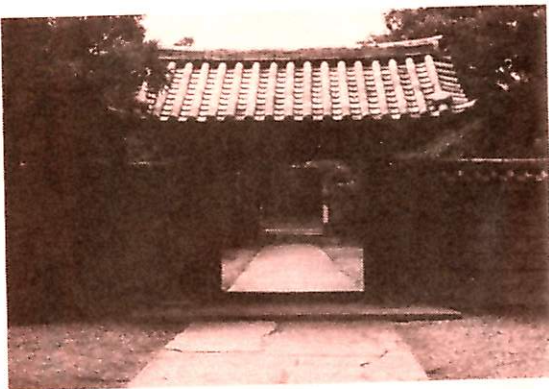
なまず君の要石探し

その3 「来て見て」
寺言問

由願をやり見せどがでまの花園
は園の中野分勝 向原花園



七福神をはじめ、一寺言問にはお
寺と神社がいっぱい。 蓮華寺



墨堤の桜並木を復活したい、
せめて木母寺までの江戸時代の
並木を復活したい、そうすれば
現在の約二倍、なんと三倍以上に
及ぶ桜並木が実現します。

「承知のように、墨堤一帯は
江戸随一の名所でした。幕末に
は、上野の山や孫鳥山よりも名
所でした。何が魅力だったのだ
しょうか。福田川、七福神、料
寺、並木で続く桜のトンネル。
これらに加えて、桜並木を市民
がつくり、育てた」ということ
も大きな魅力だったのではない
でしょうか。

墨堤の桜は将軍吉宗が幕府の
政策をつくりましたが、名所に
なる以前はだいたいぶき盛していま
した。それを名所にしたのは、
なんと市民でした。市民が桜を
植え継ぎ、管理して、並木をつ
くり育ててきたのです。つまり、
市民参加のまちづくりで桜並木
がつくり続けられたのです。

向原花園を聞いた佐原菊雄
が呼びかけて、江戸の文化人た
ちが桜を奇進して植樹したのが
始まりです。明治にはいって、
「桜勸進」とか「華勸進」とい
う名前が動進帳を通して市民の
募金が集められました。このう
ち最も大々的におこなわれたの
が、明治中期のこと。「寺言問
在住の成島柳北、大倉喜八郎ら
が総起人になり、市民の手で
千住大橋まで続く桜並木をつ
つたのです。

丸達もこうした桜並木づくり
の歴史を受け継いで、市民参加
で桜を復活させたいと思います。
この並木が完成すると、大地
震時には白粉堂防災拠点まで全
全に避難できる火除けの道にも
なります。丸達、一寺言問の防
災まちづくりを考える「わいわ
い会」として、このまちを災害
に強いまちにしてゆくためにも
この桜並木を是非実現したい
と思います。

